

JAB 認証の表明に関する規程

目次

はじめに.....	3
I. 主なグラフィック要素	4
II. 使用条件.....	5
1. 周囲との隔離部分.....	5
2. 最小使用サイズ	5
3. さまざまな背景.....	6
4. 不可の例.....	6
5. 縦バージョン	7
III. 適用	8
1. 一般条件.....	8
2. 例: 車両	9
IV. 認証について発信する際のアドバイス	11
1. 基本事項.....	11
2. 初回認証を表明する.....	12
3. 再認証を表明する.....	13
4. 認証の拡大を表明する	14

コミュニケーションガイドライン附属書	16
1. 組合せマークの使用について	16
2. プライベート認証の識別	17
3. マークの色.....	19
4. 名刺.....	22
5. 認証の表明についての注意	24
6. 登録証の広告物への利用.....	24
7. 登録証、認証マークの使用対象	29
8. よくあるご質問	40
9. SOCOTEC の JAB 認定が取り消された場合のご対応	42

はじめに

弊社よりご案内する認証マークは貴組織が取得した認証に対応しています。
これは貴組織の認証を示すために**使用できる唯一のマーク**となります。

認証マークを含めた認証の表明に関しまして、次ページより説明がございますのでご確認をお願いします。
ご不明点がございましたら、下記にご連絡ください。

お問い合わせ先：
アシュアランス部門 オペレーショングループ
TEL : 03 (3516) 2416 / E-mail: operation@certification.socotec.co.jp

I. 主なグラフィック要素

SOCOTEC 認証マーク(以下「認証マーク」とする)

には以下の要素があります。(分離不可)

- SOCOTEC ロゴ

貴組織の認証機関のロゴです。

- 貴組織が取得した認証規格

a) 規格が一つの場合の例



b) 規格が二つの場合の例



II. 使用条件

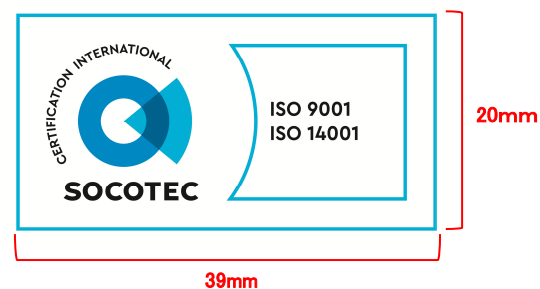
1. 周囲との隔離部分

認証マークの見やすさと統一性を確保するため、
認証マークは完全に空白の隔離部分で囲む必要があります。
右記の条件を順守してください。



2. 最小使用サイズ

認証マークの高さは少なくとも縦 20mm 以上、幅 39mm 以上にして
ください。必要に応じてこれらの寸法よりも小さくできますが、
必ず文字の判読ができる大きさでなければなりません。
また、比率を変更することはできません。
どのような場合も、認証マークのサイズは、認証を
受けた組織のロゴのサイズより明らかに
小さくしなければなりません。



3. さまざまな背景

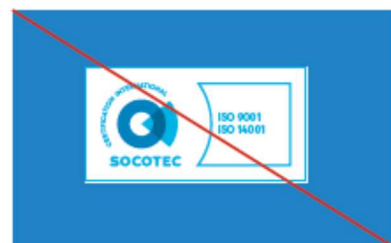
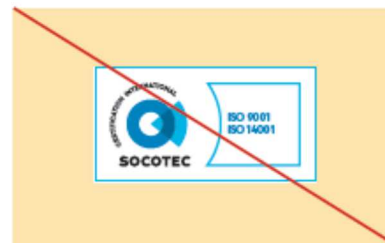
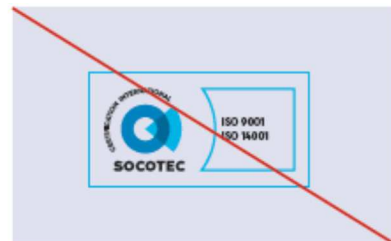
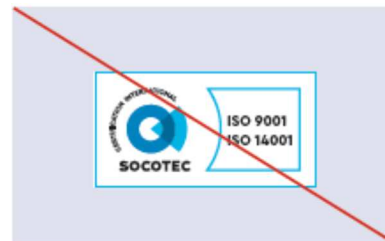
色付きの背景で使用する場合は、青の分割線があるので、認証マークに更に輪郭をつける必要はありません。



4. 不可の例

以下は認められません。

- 認証マークの各要素間の比率を変更
- 色付きの背景やイメージ上に認証マークを透明にして配置
- 色構成を変更
- 黒以外の単色を使用
- 隔離部分を守っていない



5. 縦バージョン

十分なスペースが得られないためにこれまでのページで示してきた認証マークを適用できない場合は、右に示す縦バージョンを用いることができます。



隔離部分



最小使用サイズ

規格の数がいくつであっても最小の幅は 20 mmです。必要に応じて幅 20 mmよりも小さくできますが、必ず文字の判読ができる大きさでなければなりません。

また、比率を変更することはできません。

III. 適用

1. 一般条件

認証マークを使用できるものと使用できないものがあります。
これについては認定規格(ISO17021 および ISO17030)に規定されています。

「認証マークの使用対象に曖昧さがあってはなりません。
すなわち、製品や従業員が認証を受けているという誤解を与えないようにしてください。
認証を受けたのは貴組織であるということを常に明らかにしなければなりません。」

認証マークのサイズは常に、貴組織のロゴのサイズより
明らかに小さくしなければなりません。

認証マークを使用できる対象物:

- レターヘッド付き用紙
- ウェブサイト
- Eメールの署名
- 営業用文書
- 車両

認証マークを使用できない対象物:

- 製品
- 製品の包装物および外側包装物
- 製品または包装物に添付したラベル

貴組織の業務範囲に試験機関からの報告書や、標準化/検査報告書、
証明書の提供が含まれる場合、これらの文書に認証マークは使用
できません。

2. 例：車両

大型車両でも小型車両でも、貴組織のロゴの大きさの最大 30%のサイズの認証マークを使用してください。

認証マークのサイズは、貴組織のロゴのサイズよりも必ず小さくしてください。



大型車両でも小型車両でも、貴組織のロゴの大きさの
最大 30%のサイズの認証マークを使用してください。

認証マークのサイズは、貴組織のロゴのサイズよりも
必ず小さくしてください。



IV. 認証について発信する際のアドバイス

1. 基本事項

認証の種類に関する誤解また貴組織が認証を受けた部分(地理的な事業所および/または業務)に関する誤解を避けるため、認証の対象となる範囲について、常に明確な立場でいる必要があります。

- 正確には品質や環境のマネジメントシステムが認証を受けたのであって、認証を受けたのは“会社”そのものではありません。

「当社の品質マネジメントシステムが ISO9001 認証を取得しました」とするのが最善の言い方です。しかしながら、「会社が認証を受け取った」と言うことも認められます。

- どの種類の認証を取得したのか(ISO9001、ISO14001 など)も常に述べる必要があります。

「ISO9001」と表現してください。決して「ISO 認証」や「認証された」と言う表現を使わないでください。

- 認証の適用範囲が一部の事業所や一部の業務のみである場合、特に明確に慎重に区別する必要があります。

貴組織の認証が全ての業務を対象としているという印象を与えてはいけません。例えば「当社の品質マネジメントシステムは、●●事業所の研修業務に対して ISO9001 認証を受けています」などです。

認証について言及する際、マネジメントシステムの適用規格番号について述べる必要があります。

2. 初回認証を表明する

以下の文章は例として挙げています。取得した認証の種類に応じて、また貴組織の業務や認証表明の要件に合わせて変更ください。

《ABC》は、《ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社》より、《〇〇業務》および《〇〇事業所》を対象として、《品質/環境》マネジメントシステムに対する《名称》認証を取得しましたことを謹んでご報告申し上げます。独立した第三者機関からのこの承認は、弊社および弊社従業員にとりまして大きな前進となります。

《〇〇年〇月〇日》から《〇月〇日》まで実施された審査では、《名称》規格の要求事項を満たしており、《品質/環境》における継続的改善プロセスが実行されていると結論付けられました。

本認証と《ABC》における《品質/環境》プロセスの導入には、大きな影響力があります。さらに、《ABC》の従業員が業務を行う際に一貫した効率的な方法を明確に設定することで、本認証は、一部の顧客からますます要求が高まっている選考基準に応えるものとなっています。将来の顧客、投資家、サプライヤ、その他すべての利害関係者の皆様にとって、本認証は《ABC》のプロジェクトに対する信頼を高め、弊社の《品質/環境》へのコミットメントを示すものとなっています。

3. 再認証を表明する

以下の文章は例として挙げています。取得した認証の種類に応じて、また貴組織の業務や認証表明の要件に合わせて変更ください。

《ABC》は、《ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社》により、《〇〇業務》および《〇〇事業所》を対象として、《品質/環境》マネジメントシステムに対する《名称》認証が更新となりましたことを謹んでご報告申し上げます。

《〇〇年〇月〇日》から《〇月〇日》まで実施された審査では、マネジメントシステムが《名称》規格を継続して順守していることが確認され、初回認証取得以降にも進歩がみられたことが言及されました。

独立した第三者機関から《〇》年にわたり得ているこの承認は、弊社従業員全員の努力によるものです。《品質/環境》における、既存および将来の顧客、投資家、サプライヤ、その他すべての利害関係者に対する、《ABC》のコミットメントを裏付けるものです。

4. 認証の拡大を表明する

以下の文章は例として挙げています。取得した認証の種類に応じて、また貴組織の業務や認証表明の要件に合わせて変更ください。

《ABC》の重要な優先事項である《品質/環境》へのコミットメントを強化するため、《ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社》による《名称》認証を拡大しましたことを謹んでご報告申し上げます。この認証は既に部分的に弊社の《業務/事業所》を対象としていましたが、《〇〇業務》/《〇〇事業所》に拡大されました。

独立した第三者機関からのこの承認によって、《品質/環境》において、既存および将来の顧客、投資家、サプライヤ、その他すべての利害関係者に対する《ABC》のコミットメントはさらに一歩前進し、またこうした点における組織の効率性が裏付けられました。

附属書

コミュニケーションガイドライン附属書

1. 組合せマークの使用について

認証マークと JAB シンボルが一つの枠に組み込まれたものが組合せマークです。右に示すレイアウト以外での JAB シンボルの使用は禁止です。

組合せマークの使用は強制ではありませんが、使用が許可されるのは、JAB 認定を受けた認証が授与されている場合のみです。JAB 認定を受けていない認証(以下「プライベート認証」とする)では、JAB シンボルの使用は**厳禁**です。

使用できるマークは認証マークのみになります。

認証マークの使用に関して本文に記載された規則はすべて組合せマークにも適用されますが、認証マークは使用できても組合せマークは使用できない場合があります。

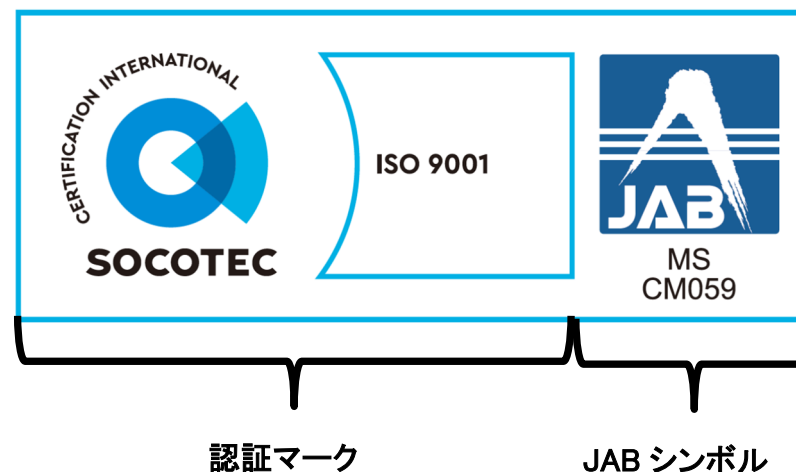
下記のものには組合せマークが使用できません。

- 車両
- 旗
- 建築物(内壁、扉、展示スタンドを除く)- 販促用製品

万一 SOCOTEC の JAB 認定が取り消された場合は

9. SOCOTEC の JAB 認定が取り消された場合のご対応
をご参照ください。

注：プライベート認証の場合 JAB のシンボルマークは使用できません。



この組合せマークのバージョンは、複数の規格について使用できません。

2. プライベート認証の識別

プライベート認証では、発行されている登録証に JAB シンボル及び IAF マークが記載されていません。

JAB 認定ありの認証



JAB シンボル及び IAF マーク あり

プライベート認証



JAB シンボル及び IAF マーク なし

JAB 認定ありの認証とプライベート認証が両方含まれている場合も、発行されている登録証より確認ができます。

認証範囲: ▲▲▲及び●●●の製造のうち、「▲▲▲の製造」は JAB 認定ありの認証だが「●●●の製造」はプライベート認証の場合

登録証には認証範囲:「▲▲▲の製造」に関して JAB シンボル及び IAF マークが記載されていますが、「●●●の製造」に関しては記載されていません。

JAB 認定ありの認証



JAB シンボル及び IAF マーク あり

一部プライベート認証



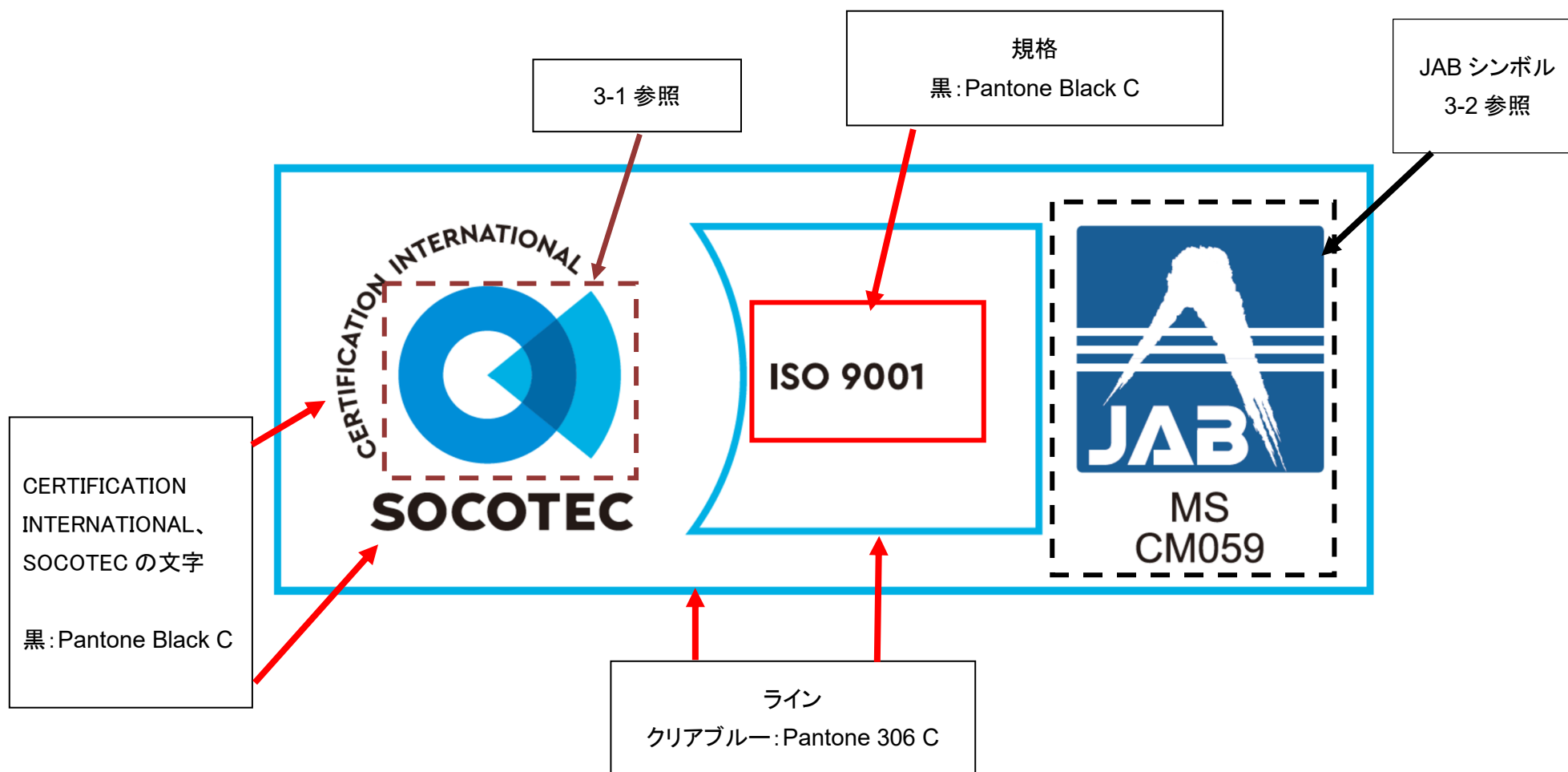
JAB シンボル及び IAF マーク なし

3. マークの色

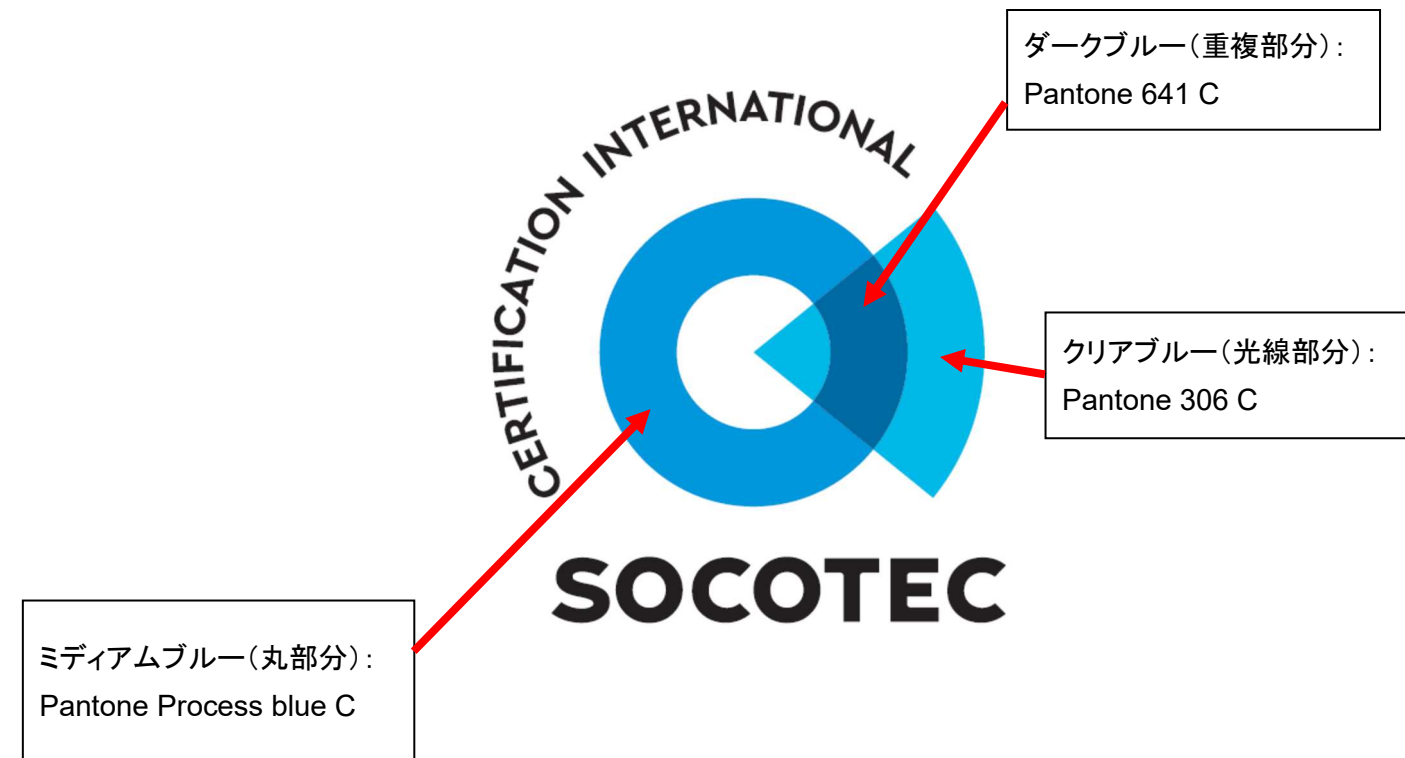
マークの色は各箇所指定色があり、変更できませんが白黒のみの使用は可能です。

指定色については、下記及び 2-1、2-2 の図を参照ください。

2-1 の表は印刷用 CMYK 及びデジタル用 RGB/HEX のカラーチャートにおいて該当する色を示しています。



3-1 認証マークの指定色



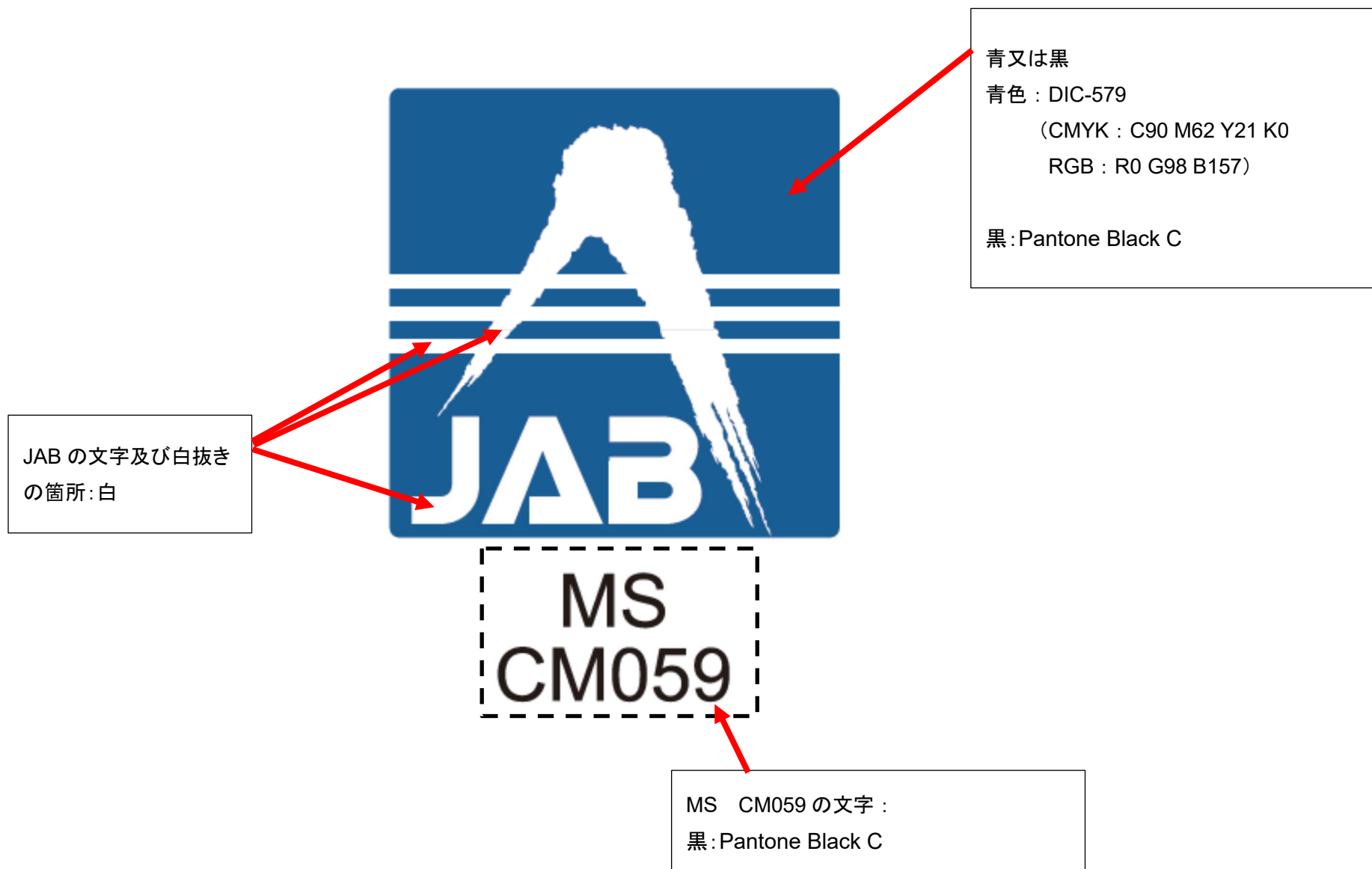
CMYK			
C: 80% M: 0% Y: 5% K: 0%	C: 100% M: 18% Y: 0% K: 0%	C: 100% M: 30% Y: 0% K: 28%	C: 0% M: 0% Y: 0% K: 100%

PANTONE® SOLID COATED			
PANTONE 306 C	PANTONE PROCESS BLUE C	PANTONE 641 C	BLACK

RGB/HEX			
R: 0 G: 172 B: 232 HEX: #00ACE8	R: 0 G: 130 B: 222 HEX: #0082DE	R: 0 G: 84 B: 153 HEX: #005499	R: 0 G: 0 B: 0 HEX: #000000

3-2 JAB シンボルの指定色

(出典:JAB 認定シンボル使用規則(JAB N410:2021))



4. 名刺

名刺上にて認証の表明を行う場合は、次を使用することができます。

1. 組合せマーク(認証マーク+JAB シンボル)
2. 認証マーク

いずれも必ず貴組織のロゴよりも小さくしてください。

従業員の氏名からできるだけ離して配置し、個人が認証を受けているという誤解を避けなければなりません。

“認証を受けた業務”に従事する従業員の方のみ、名刺に表示することができます。

4-1 組合せマーク

組合せマークのサイズは、最小サイズは縦 20 mmですが下記のルールを守って頂ければ縦 20 mmよりも小さくできます。

- ・必ず貴組織のロゴよりも小さくしてください。
- ・文字判読できる大きさとしてください。
- ・比率を変えることはできません。

組合せマークはプライベート認証では使用できません。



4-2 認証マーク

認証マークのサイズは、最小サイズは縦 20 mmですが下記のルールを守って頂ければ縦 20 mmよりも小さくできます。

- ・必ず貴組織のロゴよりも小さくしてください。
- ・文字判読ができる大きさとしてください。
- ・比率を変えることはできません。



5. 認証の表明についての注意

認証の表明、認証マーク、組合せマークを使用する対象には制限があります。原則として下記の注意事項をお守りいただいた上でのご使用となります。

1. 認証登録がされている範囲に限り認証の表明、認証マークの使用ができます。認定マークは認定機関による認定範囲に限り使用ができます。認証範囲外のサービス、活動、事業所も認証を取得しているといった認証範囲の誤解を招く方法での使用や表明をしないようにしてください。
2. 貴組織から他者へ認証の表明や認証マーク使用の許可及び譲渡をすることはできません。
3. ISO 認証は製品認証ではないため、製品（サービスを含む）またはプロセスが認証取得をしていると受け取られないようにしてください。
4. SOCOTEC や第三者認証制度の評価を損ない、社会的信用を失墜する方法で認証の表明や認証マークを使用しないでください。
5. SOCOTEC のものであると誤解のないよう、認証マークを使用時には貴組織ロゴよりも明らかに小さくして使用してください。
6. SOCOTEC から提供した認証マークは解像度や色調を低下させて使用しないでください。
7. WEB、パンフレット、広告等のコミュニケーション媒体に認証マークを使用する場合は、次ページ以降を参照して使用してください。
8. 認証の有効期間内に限り認証表明や認証マークの使用ができます。認証取消しがあった場合は、認証表明や認証マークのご使用を中止してください。SOCOTEC から提供したマークデータは復帰しえない形で完全に破棄してください。第三者に提供した場合も、同様の処置をとるよう要求してください。
9. 認証範囲の縮小があった場合は、認証表明や認証マークの使用を修正してください。
10. 上記に違反した場合、修正や是正処置をお取りいただくことになります。悪質な場合は、SOCOTEC は、認証の一時停止、取消しの処置をとるとともに違反をしたことを公表する場合があります。また、必要に応じて法的手段をとることがあります。
11. SOCOTEC より提供したマークデータは適切に管理してください。

6. 登録証の広告物への利用

WEB や会社案内での使用は次の条件を満たすことにより可能です。以下の条件は全てのページに適用されます。

1. 製品・サービスのプロモーションをしているページに使用しない。
2. 製品・プロモーションのページ以外においても、認証範囲と異なる事業内容や組織サイトがあるページに登録証を掲載する場合は、登録証の枠外に認証範囲の明記をする。また、登録証付属書が発行されている場合は一緒に表示する、あるいは付属書を表示しない場合は文言によって認証範囲を明示する。
3. 不正防止のため高解像で使用せず、高解像度のダウンロードや印刷ができないようにする。ただし、登録証の画像を拡大することで、認証範囲が読み取れること。
4. 登録証に使用されている色も含めて登録証に修正・変更は加えない。登録証の縦横の比率は変えない。
5. 登録証が更新された場合は、使用されている画像も差し替える。
6. 認証の一時停止、取消しの際は、速やかに掲載を削除する。

WEB サイトで不適切な認証表明の例 1 （会社案内、ポスター、ちらしなど、紙の広告物でも同様の利用制限があります）



どこが不適切か？

認証範囲が不明瞭。もし、認証範囲が、「▲▲▲の製造」のみであった場合、“■■■の製造”も認証範囲であるかのような誤解を第三者に与える。



<適切な例 1>



<適切な例 2>



WEB サイトで不適切な認証表明の例 2 （会社案内、ポスター、ちらしなど、紙の広告物でも同様の利用制限があります）



どこが不適切か？

認証範囲が不明瞭。もし、認証範囲が、「▲▲▲の製造」のみであった場合、“■ ■ ■ の製造”も認証範囲であるかのような誤解を第三者に与える。



<適切な例>

沿革

事業内容

ISO14001 認証取得
認証範囲：▲▲の製造

トピックス
商品紹介
当社へのアクセス
お問い合わせ
新規採用
主要取引先
個人情報保護方針

▲▲▲及び■の製造

認証範囲を明記する
又は、認証の表明の表示を取る。

又は、
認証表明を、事業内容
や製品情報のないページに移動する。

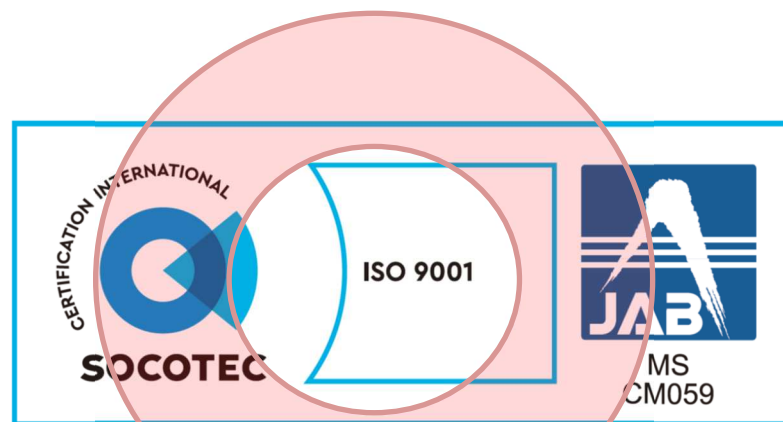
7. 登録証、認証マークの使用対象

7-1 認証範囲の識別例

名刺への使用

注: 下記は組合せマークになりますので、プライベート認証では認証マークに読み替えてご確認ください

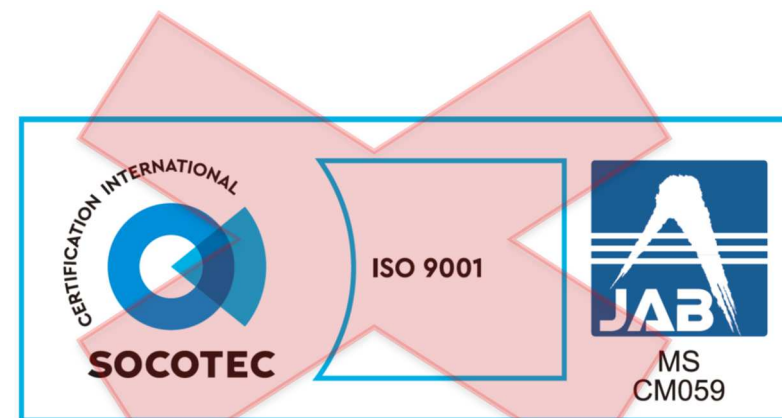
認証範囲外の部門も掲載されている場合



〇〇工場
または
本社、△△工場を除く

認証取得している部門を記述する、または
認証範囲外の部門を列記し△△は除くといったように認証取得をし
ている部門に誤解のないように表記する

認証範囲外のサービス、活動が掲載されている場合

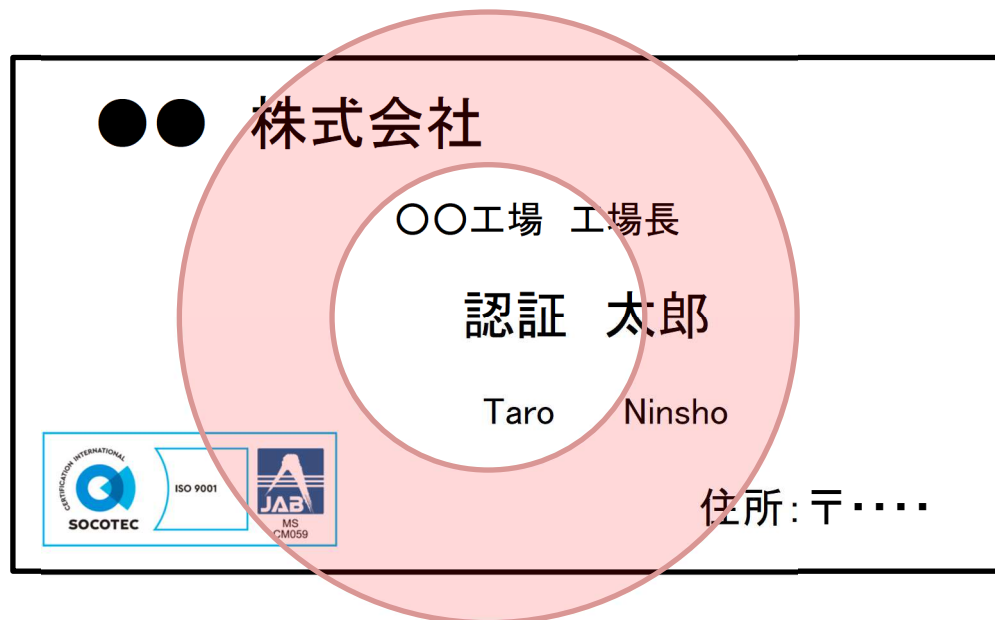


土木・建築構造物の設計・施工

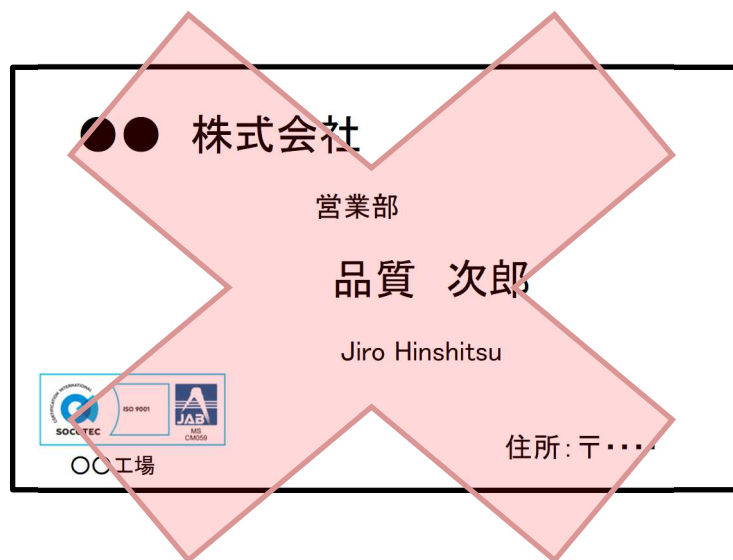
**認証範囲: 建築構造物の設計・施工
の場合、上記の使用では認証範囲外の活動が表記されて
いるので NG**

①認証範囲:〇〇工場だけで取得

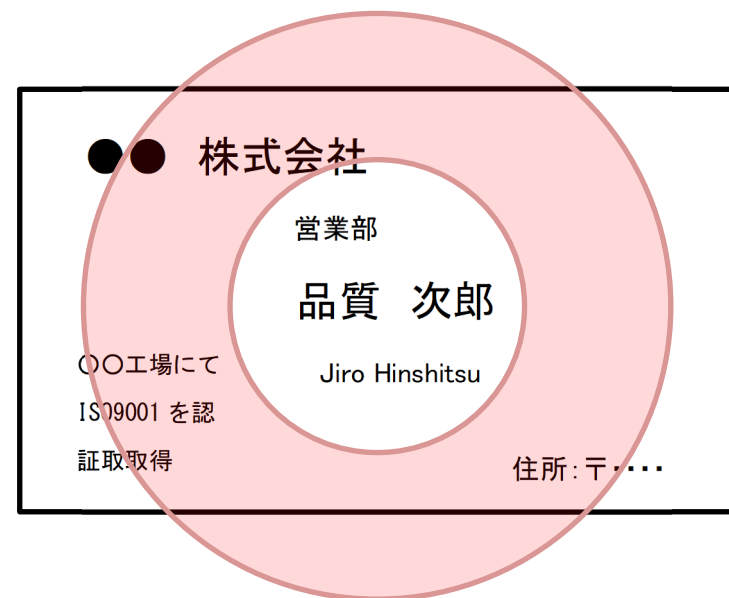
認証範囲に含まれる「〇〇工場」の要員の名刺には、認証マークが使用できます。



認証範囲に含まれない「営業部」の要員の名刺には、認証マークのそばに認証範囲である「〇〇工場」と表記しても認証マークを使用できませんので、文章での表明としてください。



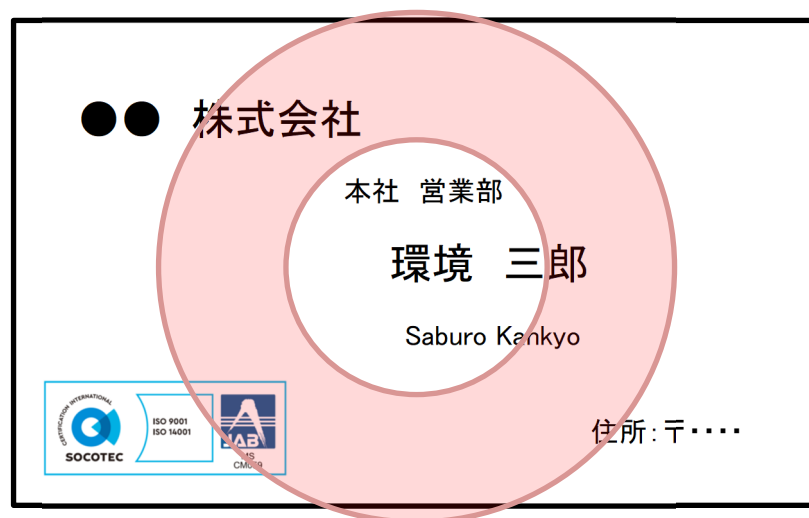
営業部は、認証範囲ではないので認証マークは使用できません。



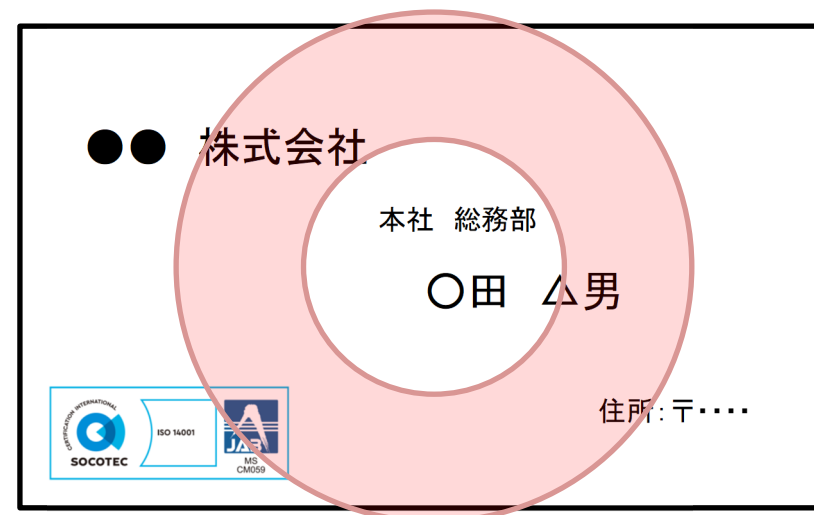
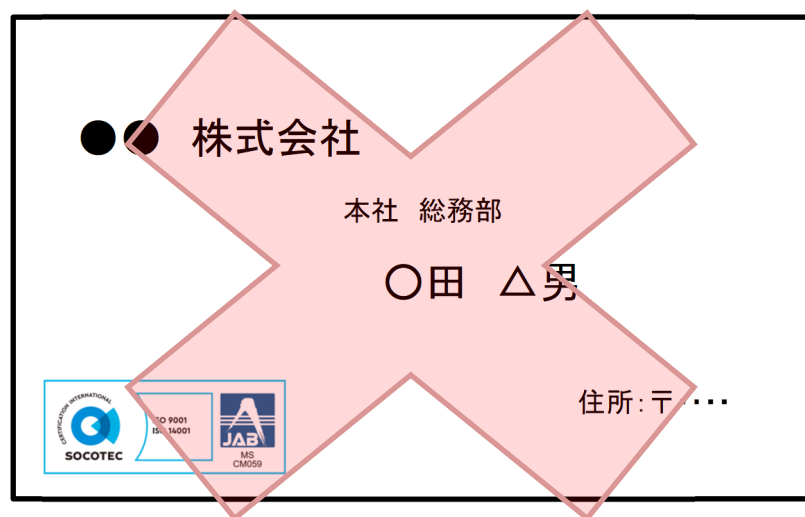
②複数規格を統合マネジメントシステムで認証取得しているが、規格によって認証範囲が違う場合

ISO9001:本社で認証取得(ただし総務部は認証範囲外)

ISO14001:本社で認証取得(総務部も認証範囲に含む)



本社営業部は、ISO9001、ISO14001 両方の認証範囲なので、ISO9001、ISO14001 と書かれた認証マークを使用できます。

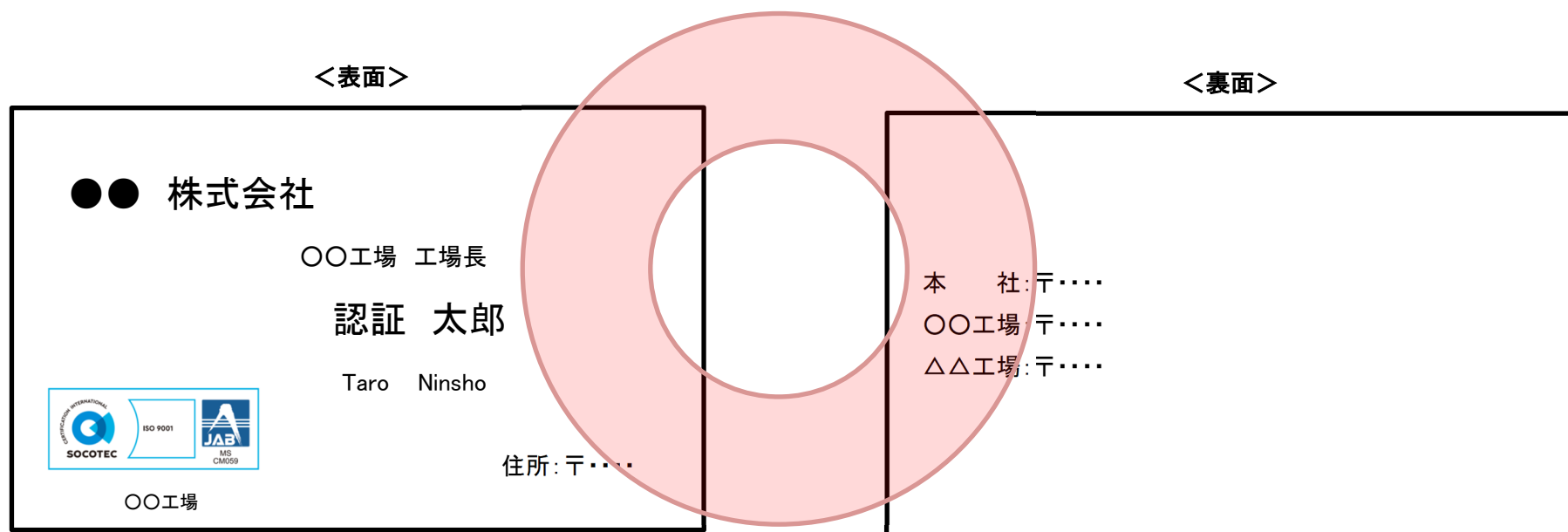


本社総務部は、ISO9001 では認証範囲ではないので ISO9001 と書かれた認証マークは使用できません。本社総務部も認証範囲となっている ISO14001 の認証マークであれば使用できます。

③名刺の裏面に認証範囲ではない事業所、サービス、活動が記載されている場合の識別

【名刺の裏面に認証範囲外の事業所が表記されている場合】

認証範囲: ○○工場だけで取得



名刺の裏面に認証範囲外の部門も明記されているので、識別のため認証マークのそばに認証取得している部門である「○○工場」と明記しています。

<表面>

<裏面>

●● 株式会社 〇〇工場 工場長 認証 太郎 Taro Ninsho 住所: 〒..... 	本社: 〒..... 〇〇工場: 〒..... △△工場: 〒..... 〇〇工場でのみ ISO9001 認証取得
---	---

名刺の裏面だけに認証範囲外の情報があるので、裏面に認証範囲の識別を明記しています。

<表面>

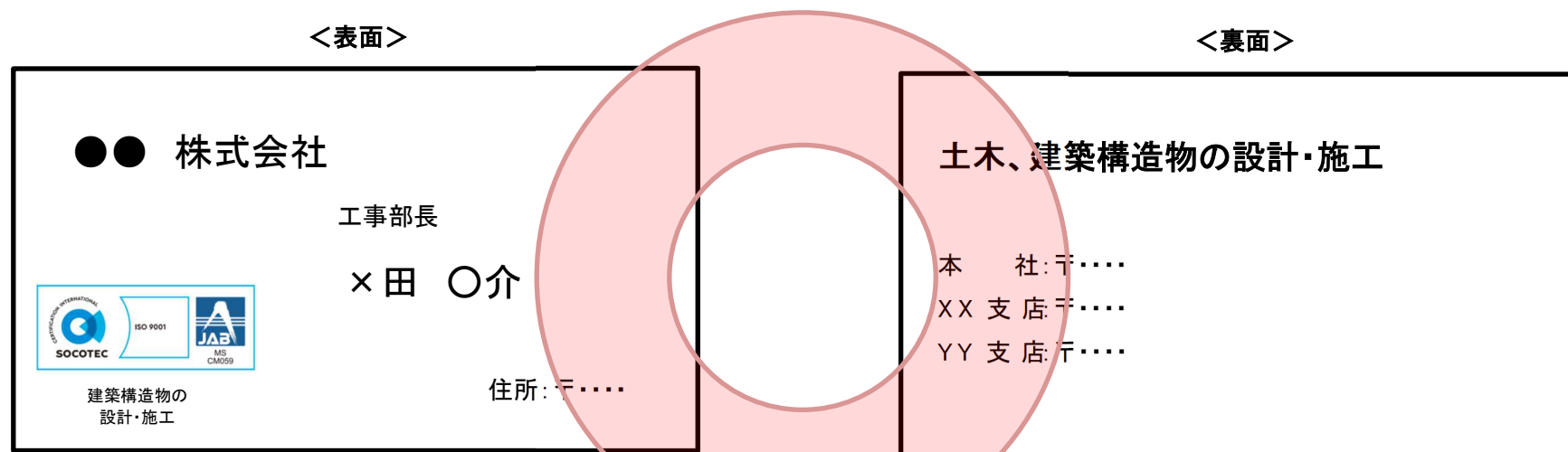
<裏面>

●● 株式会社 〇〇工場 工場長 認証 太郎 Taro Ninsho 住所: 〒..... 	本社: 〒..... 〇〇工場: 〒..... △△工場: 〒.....
---	---

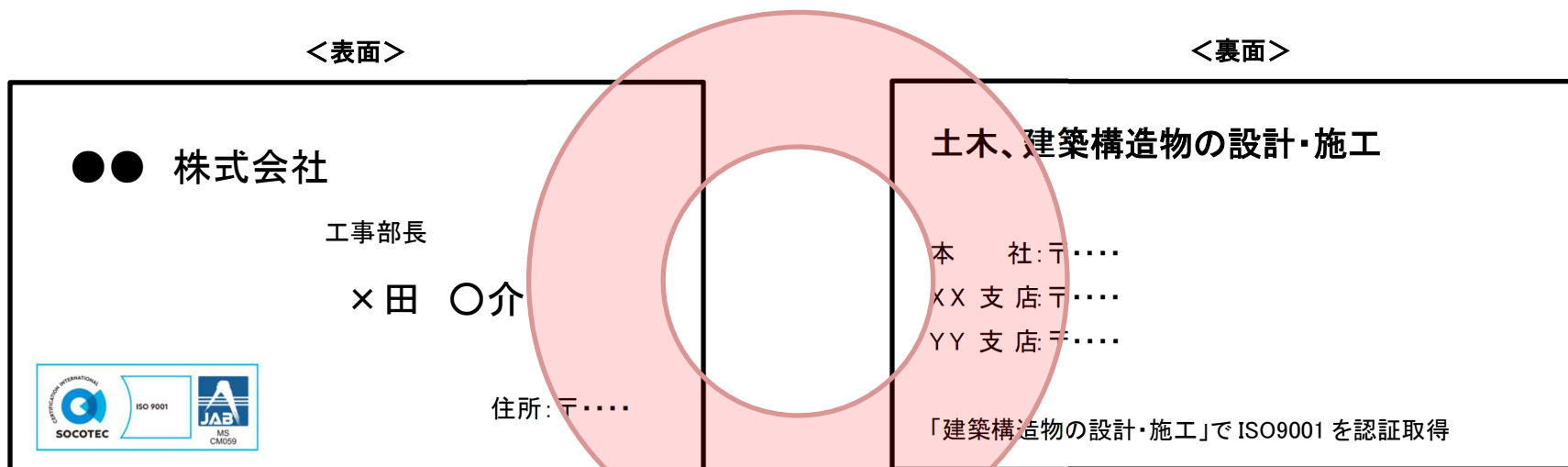
認証範囲ではない本社、△△工場でも認証取得しているような誤解が生じますので、この使用はできません。

【名刺の裏面に認証範囲外のサービス、活動が記載されている場合】

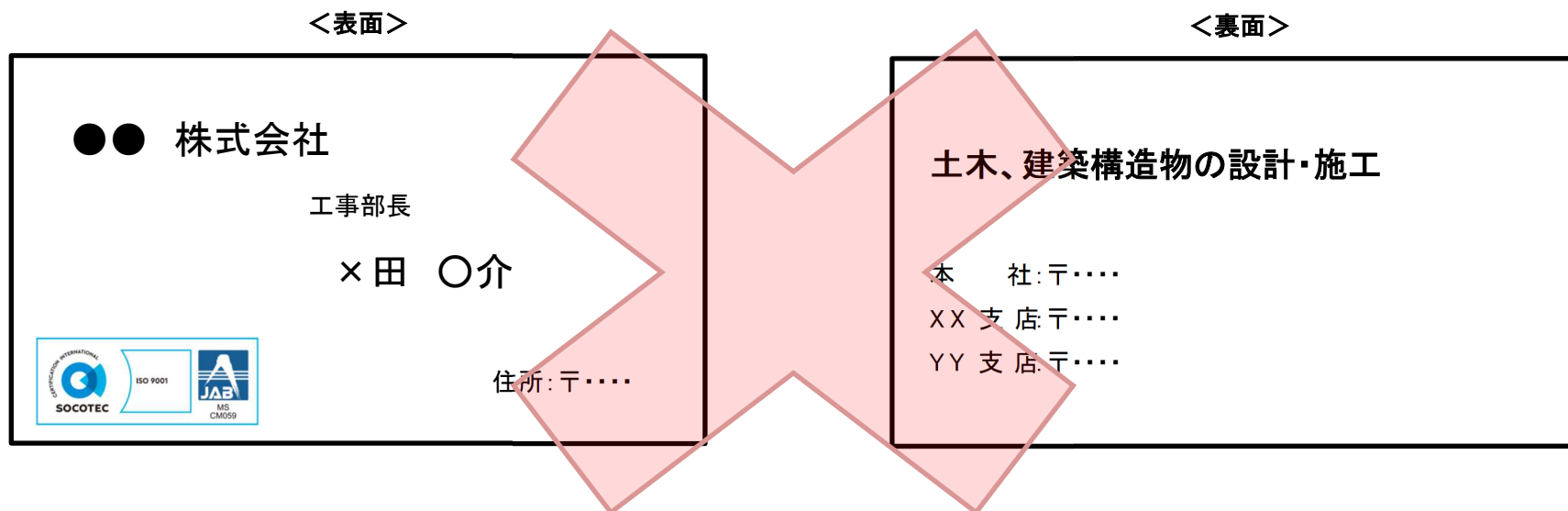
認証範囲: 建築構造物の設計・施工



名刺の裏面に認証範囲外のサービスである「土木構造物の設計・施工」も明記されているので、識別のため認証マークのそばに認証取得しているサービスである「建築構造物の設計・施工」と明記しています。



名刺の裏面だけに認証範囲外の情報があるので、裏面に認証範囲の識別を明記しています。



認証範囲ではない土木構造物の設計・施工も認証取得をしているような誤解が生じますので、この使用はできません。

7-2 表 1

使用対象	認証マーク	組合せマーク (認証マーク+JAB シンボル) 注意 プライベート認証では 使用不可	登録証
【名刺】 注) 認証範囲外の業務や事業所が記載されている場合は、認証されている業務や事業所と、認証外の業務や事業所を明確に区別する必要があります。名刺の裏面に認証範囲外の業務や事務所が記載されている場合も同様です。 認証範囲外の方の名刺には、認証範囲の識別の表記があっても使用できません。	○	○	×
【書式・帳票】 レターヘッド、書類送付状、ラベル、請求書/見積書、封筒等(単独で製品とはならないもの) 注 1) サービスや製品に認証を受けているという誤解を避けるために、製品名やサービス名から離れたところになら認証マークを使用できます。 注 2) 認証範囲と組織の事業内容が異なる表記がされている紙面では、認証範囲を明示願います。	○	○	×
【WEBページ】 * 7.2 項 表記事例参照 注 1) 製品認証との暗示や誤解を避けるため、製品またはサービスについて宣伝をしているページでの表示はできません。 注 2) 認証範囲と組織の事業内容が異なる表記がされているページでは、認証範囲を明示願います。	○	○	○
【WEBページ以外の広告物】 ポスター、テレビ広告、プロモーションビデオ、ニュースレター、会社案内等 注 1) 製品認証との暗示や誤解を避けるため、製品またはサービスについて宣伝をしているページでの表示はできません。 注 2) 認証範囲と組織の事業内容が異なる表記がされているページでは、認証範囲を明示願います。	○	○	○ 会社案内のみ

使用対象	認証マーク	組合せマーク (認証マーク+JAB シンボル) 注意 プライベート認証では 使用不可	登録証
【製品についての広告情報】 製品カタログ、パンフレット、製品に付随する通知・ラベル・文書・案内 注) カタログは、製品が掲載されているページ内においては原則として使用できません。但し、製品と認証組織名が同じページにある場合には、認証マーク及び認証組織名・住所を枠等で識別し、製品認証との誤解を防ぐような説明文を記述することによって使用可能となります。例:「〇〇会社はISO9001 への適合が認められた品質マネジメントシステムによって企業活動を行っております」等。	×	×	×
【製品の個別包装】	×	×	×
【製品の外側包装物】	×	×	×
【展示用スタンド】 製品・業務内容が表記(写真・イラスト含む)されていない場合に限りです。	○	○	○
【プロモーション用ツール】 記念品、ギフト品(マグカップ、カレンダー、プリペイドカード、ボールペン、文鎮等)、クリスマスカード	×	×	×
【建物】 注) 組合せマーク、登録証は、建物の内壁、扉へのみ使用できます。	○	×	×
【旗】	○	×	×

使用対象	認証マーク	組合せマーク (認証マーク+JAB シンボル) 注意 プライベート認証では 使用不可	登録証
【年賀状】 製品・業務内容が表記(写真・イラスト含む)されていない場合に限りです。	○	○	×
【制服/事務服】 式典、接客などに着用する服	×	×	×
【作業服】 特定の労働特性に特化した機能性を重視した服 製品・業務内容が表記(写真・イラスト含む)されていない場合に限りです。 注) 貴組織名または貴組織ロゴの近くに認証マークをいれてください。認証マークは貴組織名または貴組織ロゴより小さいサイズであること、また制限(適用除外の部門、プロセス)がある場合は、必ずその制限も記入する必要があります。	○	×	×
【試験成績書、校正証明書、登録証】	×	×	×
【業務用車両】 注) 商品名の記載がない車両の側面に認証マークは使用可能です。 ポスターについては、商品名の記載がなく、商品 PR がないポスターに限り、商品名が記載されていない車両の側面に掲示可能です。	○	×	×

8. よくあるご質問

以下のいずれにつきましても、**5.認証の表明についての注意**にある注意事項をお守りいただいたうえでの使用となります。また、プライベート認証では組合せマークは使用できませんのでご注意ください。

名刺	Q1	認証外の部署が記載されている名刺にマークを使用したい。	
	A	○	認証マーク、組合せマークを使用し、認証範囲(認証サイト及び適用範囲)を限定している記述を明記している場合は可。認証マーク、組合せマークは名前の近くでの使用は不可。
		×	認証範囲(認証サイト及び適用範囲)を限定していない場合は不可。
		・認証外の業務や事業所が記載されている場合は、認証されている適用範囲や事業所、および認証外の業務や事業所を明確に区別する必要があります。裏面に認証外の業務や事業所が記載されている場合も同様です。 ・認証範囲の要員ではない方の名刺には認証範囲を識別する表記があっても認証マーク、組合せマークは使用できません。	
	Q2	社長や専務は認証外の本社に在籍しているがマーク入りの名刺を使用したい。	
	A	○	トップマネジメントとして認証組織に入っているのであれば、認証マーク、組合せマークを使用することは可。認証マーク、組合せマークは名前の近くでの使用不可。
		×	トップマネジメントが認証組織に入っていなければ不可。
		・認証範囲の要員ではない方の名刺には使用できません。	
	Q3	認証外の業務が記載されている名刺にマークを使用したい。	
	A	○	認証マーク、組合せマークの下に認証されている業務を明確に記述している場合は可。認証マーク、組合せマークは名前の近くでの使用不可。
		×	認証されている業務と記載されている業務内容が一致していない場合は不可。
		・第三者に誤解を与えないため。	
旗	Q4	社旗にマークを使用したい。	
	A	○	認証マークのみ可。
		×	組合せマークは不可。
工事幕	Q5	マークを工事幕(工事現場の足場に付けているようなもの)に使用したい。	
	A	×	認証マーク、組合せマークともに使用不可。 マークを使用せず、「ISO9001 登録企業……」等の宣言文のみであれば可。
		・製品認証との誤解を与えないため。	

建物	Q6	マークを建物の外壁に貼りたい。	
	A	○	認証マークのみ可。
		×	組合せマークは不可。
看板	Q7	看板(プラスチック)にマークを載せたい。	
	A	○	認証マークのみ可。
		×	組合せマークは不可。
作業着	Q8	作業着にマークを使用したい。	
	A	○	認証マークのみ可。 作業着には、貴組織名または貴組織のロゴがある場合にのみ、その周辺に認証マークを入れることは可。ただし、認証マーク、は貴組織名(ロゴ)より小さいサイズであること、また認証組織としての制限(適用除外の部門、プロセス)がある場合は、必ずその制限も明記すること。尚、作業着には、一斉の製品名・サービス名が(写真・イラスト含む)が表記されていないこと。
		×	組合せマークは不可。
		・作業員及び作業服自体の認証ではなく、組織が認証を受けていることが明らかになるようにする必要があります。	
制服	Q9	制服にマークを使用したい。	
	A	×	直接使用は不可。JAB 及び SOCOTEC の職員であると誤解を招くため。
製品ラベル	Q10	製品にマークを使用したい。	
	A	×	不可。
		・製品そのものが認証を受けているような誤解を避けるため。	
業界紙	Q11	製品の詳細を記載している記事に社名とマークを記載したい。	
	A	×	不可。ISO9001 認証取得の文言のみの記載は可。
		・製品の認証取得との誤解を避けるため、宣伝を行っているページに直接表示は不可。	
新聞広告	Q12	新聞広告にマークを使用したい。	
	A	○	貴組織名と住所に並べて記載する場合は可。製品・業務内容が表記(写真・イラスト含む)されていない枠に限ります。
	Q13	3規格を取得しているが、全て記載するのはスペースがなく難しいので2規格のみのマークを記載したい。	
	A	○	可。

贈答品	Q14	記念品にマークを使用したい。	
	A	×	認証マーク、組合せマークともに使用不可。
見積書	Q15	見積書にマークを使用したい。本社住所のみ記載しているが、対象外の営業所も使いたい。	
	A	○	本社が取得したことの分かる注意書きを入れることにより使用可。貴組織名に近い位置に使用し、認証組織とマークの関係が判るようにする必要あり。尚、使用は、表ページや裏表紙など、製品名・サービス名が明記(写真・イラスト含む)されていないページに限ります。
会社案内	Q16	会社案内にマークを使用したい。	
	A	○	貴組織の住所記載場所に掲載する場合は可。認証範囲が限定されている場合は、認証範囲に誤解を与えないようにすること。
WEBページ	Q17	会社の WEB ページにマークを使用したい。	
	A	○	貴組織の住所記載場所であれば可。認証範囲が限定されている場合は、認証範囲に誤解を与えないようにすること。

9. SOCOTEC の JAB 認定が取り消された場合のご対応

万一 SOCOTEC が JAB 認定を取り消された場合、以下のご対応をお願いします。

1. 組合せマークの使用を速やかに中止してください。
2. 弊社より提供した組合せマークのデータを復帰しえない形で完全に破棄してください。第三者に提供した場合も、同様の処置をとるよう要求してください。
3. JAB シンボルのある登録証は速やかに返却又は廃棄をお願いします。廃棄の際は、シュレッダーによる裁断、焼却等再利用できないような処置をお取りください。
4. JAB シンボルのない登録証を送付しますので差し替えをお願いします。
5. 広告物に JAB シンボルのある登録証を使用している場合は、速やかに削除をお願いします。JAB シンボルのない登録証と差し替えをお願いします。

改訂履歴

版数	改訂日	改訂内容
1.0	2020/12/10	初版制定
1.1	2021/04/01	Ⅲ適用 2. 例:レターヘッド付き用紙～5. 例:営業用文書を削除 附属書 6. 登録証の広告物への使用 2、3 を変更
1.2	2021/04/12	附属書 6. 登録証の広告物への使用 2、3 を変更
1.3	2021/5/6	・文書名変更 JAB コミュニケーション → JAB 認証の表明に関する規程 ・附属書 6 項 広告物への登録証の使用手順をイラスト化 ・7-2 表1及び8 項 該当する使用対象の欄に以下を追記 認証範囲と組織の事業内容が異なる表記がされているページでの使用制限を追記
1.4	2022/03/08	・1 はじめに データフォーマット形式に関する記述の削除、お問い合わせ先を追加 附属書 ・1 組合せマークの使用について 縦型マークを複数規格で利用できる旨に変更 ・2 マークの種類削除 以降繰り上げ ・2 マークの色 白黒のみの使用可である旨を追加 ・JAB 認定ロゴの反映(JAB から認定ロゴがきたら反映) ・8 よくあるご質問 Q17 表現変更
1.5	2023/04/28	附属書 ・プライベート認証では組合せマークを使用できない旨を追記 1.組合せマークの使用について 4.名刺 4-1 7.登録証、認証マークの使用対象 7-1、7-2 8.よくあるご質問 ・2.プライベート認証の識別を追記。以降繰り下げ。
1.6	2023/05/18	誤字及び体裁を修正
1.7	2024/02/15	組織変更に伴い、問合せ先の記載内容(部門名・メールアドレス・電話番号)を変更。
1.8	2024/02/19	当社略称について、標記揺れを修正。(SOCOTEC 社→SOCOTEC)
1.9	2024/02/28	不要な空白ページを削除。

2.0	2024/07/18	IV. 認証について発信する際のアドバイス 年版に対する記載を削除
2.1	2024/10/01	お問い合わせ先 部署名の変更

弊社の認証マークのご使用に関してご質問がありましたら
担当者へお問い合わせください。

